

Bコース①【介護と仕事の両立推進事業】

取組の実施状況

企業名	株式会社インターオン			
所在地	東京都新宿区住吉町7番3号サンライズビル			
業種	情報通信業			
常用労働者数	3人			
事業内容	情報通信機器とその周辺機器及びコンピューターのハードウェア・ソフトウェア開発、設計、設置、構築、賃貸、運用管理、輸出並びに国内販売とそのサービス事業			
ホームページ	https://www.interon.jp/index.php			
1 ニーズ調査				
①実施日	令和4年8月9日			
②方法	調査票を都内に勤務する全従業員に配布（手渡し、メール送信等）			
③回収率	対象者（都内全従業員）3名のうち回収数3名 回収率 100%（回収数/対象者）			
④調査結果概要	<p>（調査により明らかになった課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の従業員の介護状況、介護対象者の有無について 介護を経験した従業員は全体の33%（1名）で、現在も介護を行っている従業員はいなかった。</li> <li>・今後の従業員の介護見込みについて 介護をする可能性がある従業員は全体の33%（1名）であり、介護の担い手としては「その他の親族」という回答であった。</li> <li>・就業規則、規程内の介護関係制度に関する認知状況について 介護に関する社内規定の認知状況については、「制度があるかどうか知らない」「制度はない」という回答であった。</li> <li>・介護と仕事の両立に関する不安について 介護の可能性のある従業員からは「少し不安を感じる」との回答があったが、介護をしながら現在の職場で働き続けることができるかに対しては「続けられる」との回答であった。</li> <li>・介護が続いた場合の望ましい働き方及び社内制度について 介護することになった場合の望ましい働き方としては「介護が必要な時期は休業制度を利用して自分が介護をして、その後仕事に復帰する」「介護休業や介護のための短時間勤務などの支援制度を利用しつつ、できるだけ普通に働き続けながら、介護と仕事を両立する」「仕事の仕方を特には変えない」という回答がそれぞれあり、「介護休業期間は主に仕事を続けながら介護をするための体制を構築する期間である」という認識であるという回答を得た。</li> </ul>			
2 プロジェクトチームの設置及び運営状況				
①設置日	令和4年8月15日			
②メンバー	総計3名（うち都内勤務の従業員2名） （メンバー内訳）役員、従業員、従業員			
③運営状況	開催日	開催時間	検討内容	参加者数
	9月7日	10:00～11:30	活動内容及びスケジュールの確認	3名
	9月14日	10:00～11:30	調査結果概要説明、目標案の掲示	3名
	9月21日	14:00～15:30	目標についての意見交換、目標確定	3名
3 策定した取組計画（内容及び取組時期）				
令和4年10月～ 介護休業制度や公的介護保険についての研修を実施する				